

自主的避難等対象区域（福島市）から避難した要介護４の夫とその介護をしていた妻について、夫婦の避難生活の困難さや妻が精神的・身体的に変調を来したことを考慮し、精神的損害をそれぞれ６万円増額した事例。

和解契約書（全部和解）

原子力損害賠償紛争解決センター平成〇〇年（東）第〇号事件（以下「本件」という。）につき、申立人X 1 及び同X 2（併せて、以下「申立人ら」という。）と被申立人東京電力株式会社（以下「被申立人」という。）は、次のとおり和解する。

第1 和解の範囲

申立人らと被申立人は、本件に関し、下記の損害項目（下記期間に限る。）について和解することとし、それ以外の点については、本和解の効力は及ばないこととする。

記

1 損害項目

（1）平成23年分

- ア 避難費用（交通費）
- イ 避難費用（一時帰宅費用）
- ウ 生活費増加費用（家財道具購入費用）
- エ 介護費用増加費用（施設利用料）
- オ 介護費用増加費用（通所費用）
- カ 精神的損害

（2）平成24年分及び平成25年分

- ア 介護費用増加費用（施設利用料）
- イ 介護費用増加費用（通所費用）

（3）本件和解仲介に関する弁護士費用

2 期間

（1）平成23年分について

自 平成23年3月11日
至 平成23年12月末日

（2）平成24年分及び平成25年分について

自 平成24年1月1日
至 平成25年7月末日

第2 和解金額

被申立人は、第1記載の損害項目及び期間についての和解金として、申立人らに対し、金1, 367, 065円の支払義務があることを認める。

【内訳】

（1）平成23年分

ア 避難費用（交通費）	76, 800円
イ 避難費用（一時帰宅費用）	38, 400円
ウ 生活費増加費用（家財道具購入費用）	50, 000円
エ 介護費用増加費用（施設利用料）	244, 187円
オ 介護費用増加費用（通所費用）	18, 480円

カ 精神的損害	200,000円
(2) 平成24年分及び平成25年分	
ア 介護費用増加費用（施設利用料）	649,221円
イ 介護費用増加費用（通所費用）	50,160円
(3) 本件和解仲介に関する弁護士費用	39,817円

第3 既払金

申立人ら及び被申立人は、被申立人が申立人らに対し、中間指針追補に基づく精神的損害、生活費増加費用及び移動費用として、金160,000円を支払済みであることを確認する。

第4 支払方法

（省略）

第5 手続費用

本件に関する手続費用は、各自の負担とする。

第6 清算

申立人らと被申立人は、第1項に掲げる損害項目（同項の期間に限る。）について、以下の点を相互に確認する。

ア 本和解に定める金額を超える部分につき、本和解の効力が及ばず、申立人らが被申立人に対して別途損害賠償請求することを妨げない。ただし、本件和解仲介に関する弁護士費用については、本和解に定めるもののほか、当事者間に何らの債権債務がない。

イ 本和解に定める金額に係る遅延損害金につき、申立人らは被申立人に対して別途請求しない。

本和解の成立を証するため、本和解契約書を2通作成し、申立人ら及び被申立人が署名（記名）押印の上、申立人らと被申立人がそれぞれ1通を保有するものとする。また、被申立人は、本和解契約書の写し1通を、原子力損害賠償紛争解決センターに交付する。

平成26年1月6日

（仲介委員 橋本副孝）